

# Power Point 2019 応用

Hardware

Software

Operating System

Application

Mouse

Key Board

Hard Disc

Floppy Disc

CD-ROM

MO

Memory

Word Processor

Spread Sheet

Data Base

Internet

WWW

Homepage

E-mail

Network

.....etc.



資格の学校  
**TAC**



# はじめに

## 用語について

本文中では、「Microsoft® PowerPoint 2019」のことを、「PowerPoint」または「PowerPoint2019」と表記しています。

## 本文中の表記について

表 記	説 明
( )	引用、他の表記
【 】	重要な用語、機能名
「 」	フォルダー名、ファイル名
『 』	入力箇所、選択箇所
《 》	ウィザード名、ダイアログボックス名、ウィンドウ名、メッセージボックス名
[ ]	タブ名、リボン名
 <b>Check!</b>	操作上の注意点など
<b>One Point</b>	補足説明、手順に説明された方法以外の操作など
囲み文字	ダイアログボックス・ウィザードのボタン名、キーボード名

## 動作環境について

本書は、以下の環境にて制作しています。

- OS : Windows 10 Enterprise
- アプリケーションソフト : Microsoft Office Professional Plus 2019
- 画面解像度 : 1920×1080 ピクセル

※環境によっては、画面の表示が異なる場合や、機能が操作できない場合があります。

## ライブラリ (フォルダー)「ドキュメント」について

本書のライブラリ (フォルダー)「ドキュメント」は、Windows 10 を初期設定の状態で、作成されたものとして記載しています。

---

# 目次

---

第 1 章	データの活用	.....	1
	1-1	第 1 章完成例	
	1-2	Word 文書の挿入	
	1-3	Excel データの貼り付け	
	1-4	他の PowerPoint データの活用	
	1-5	スクリーンショットの挿入	
	1-6	第 1 章の復習	
第 2 章	スライドのカスタマイズ	.....	27
	2-1	第 2 章完成例	
	2-2	スライドマスター	
	2-3	オブジェクトの動作設定	
	2-4	動作設定ボタンの作成	
	2-5	第 2 章の復習	
第 3 章	プレゼンテーションの活用	.....	61
	3-1	第 3 章完成例	
	3-2	プレゼンテーションの校閲	
	3-3	セクションの利用	
	3-4	スライドの非表示	
	3-5	目的別スライドショー	
	3-6	第 3 章の復習	

# 目次

---

第4章	動画と音声の活用	85
4-1	第4章完成例	
4-2	ビデオの利用	
4-3	オーディオの挿入	
4-4	アニメーションの追加	
4-5	第4章の復習	
第5章	グラフィックの活用	119
5-1	第5章完成例	
5-2	スライドの設定	
5-3	画像の配置	
5-4	図形の配置	
5-5	図形の組み合わせ	
5-6	テキストボックスの配置	
5-7	スライドの背景	
5-8	第5章の復習	
第6章	その他の機能	163
6-1	第6章完成例	
6-2	様々なスライドショー	
6-3	様々な形式で保存	
6-4	プレゼンテーションの保護	
6-5	第6章の復習	
付録		187
付録-1	付属 CD-ROM の使い方	
付録-2	演習問題	
付録-3	タッチモード	



## 第4章

# 動画と音声の活用

スライドに動画や音声などのメディアを挿入し、編集や再生する方法について学習します。  
また、アニメーションを遅延させて再生したり、コピーして利用したりする方法について学習  
します。

4-1	第4章完成例	86
4-2	ビデオの利用	87
4-3	オーディオの挿入	100
4-4	アニメーションの追加	111
4-5	第4章の復習	115

## 4-1 第4章完成例

第4章で作成するプレゼンテーションを確認しましょう。

プレゼンテーション「第4章」を開きましょう。

<完成例>

スライド 2

EXCELの機能

1. 表計算 2. グラフ 3. データベース 4. マクロ

第1四半期売上表							
営業所名	4月	5月	6月	合計	構成比	平均	最大売上高
品川営業所	77,400	47,900	76,500		0.00%	67,267	77,400
渋谷営業所	85,200	96,200	66,300		0.00%	82,567	96,200
東京営業所	69,900	86,300	86,200		0.00%	80,800	86,300
新宿営業所	88,000	58,810	45,800		0.00%	64,203	88,000
池袋営業所	71,500	86,300	69,900		0.00%	75,900	86,300
恵比寿営業所	69,400	59,400	81,000		0.00%	69,933	81,000
合計	461,400	434,910	425,700	¥1,322,010			
最小売上高	88,000	96,200	86,200				

ビデオの挿入  
 キャプションの挿入  
 ビデオのトリミング  
 オーディオの挿入  
 再生順序の変更

スライド 7

学習方法

**パソコンスクール**

- 講師により、基本から応用まで順序だてて学べる
- 集中して学べる

**通信教育**

- 自宅で自分のペースで学べる

**eラーニング**

- PCやインターネット環境があれば、いつでもどこでも学べる

自分に合った学習方法を選び、効率よくExcelを習得！

アニメーションのタイミング  
 アニメーションの遅延

スライド 8

申込方法

パソコンスクール	通信・eラーニング
<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットをダウンロードする</li> <li>申込フォームに記入する</li> <li>統括部宛に申込フォームを送信する</li> <li>社内Payで受講料を支払う</li> <li>受講カードが配布される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットをダウンロードする</li> <li>申込フォームに記入する</li> <li>実施団体に申込フォームを送信する</li> <li>社内Payで受講料を支払う</li> <li>メールで受講URLが実施団体から送信される</li> </ul>

アプリケーション推進統括部で相談室を設けています。

アニメーションの  
 コピー/貼り付け



## 4-2 ビデオの利用

スライドにビデオを挿入する方法を学習します。

デジタルビデオで作成した動画(ビデオ)をスライドに挿入できます。「MP4 ビデオファイル」、  
「Windows Media ビデオファイル」など様々な形式のビデオを挿入できます。

スライドに挿入したビデオは、プレゼンテーションに埋め込まれてひとつのファイルで管理されるため、ビデオファイルを削除したり、プレゼンテーションの保存場所を移動したりしてもビデオが再生できなくなることはありません。


### PowerPoint で利用できるビデオファイルの種類

ファイルの種類	説明	拡張子
MP4 ビデオファイル	macOS や Windows など利用されているファイル形式	.mp4 .m4v .mov
Windows Media ビデオファイル	Windows に搭載されている Windows Media Player が標準でサポートしているファイル形式	.wmv
Windows Media ファイル	動画や音声、文字などのデータをストリーミング配信するためのファイル形式	.asf
Windows ビデオファイル	Windows で利用されているファイル形式	.avi
ムービーファイル	CD や DVD、デジタル衛星放送、携帯端末などで広く利用されているファイル形式	.mpg .mpeg

## 操作 ビデオの挿入

スライド 2 に「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されている、MP4 ビデオファイル「 EXCEL の機能 」を挿入しましょう。

手順1 スライド 2 を選択します。

手順2 コンテンツプレースホルダー内の  (ビデオの挿入) をクリックします。

手順3 <ビデオの挿入> パネルが表示されます。

「ファイルから」の「参照」をクリックします。



### ① ファイルから

コンピューター上に保存されているビデオを挿入します。

### ② You Tube

「 You Tube 」に公開されているビデオをキーワードで検索し、挿入します。Web 上のビデオへのリンクが設定されるため、プレゼンテーションの容量を抑えることができます。ビデオ再生にはインターネットに接続できる環境が必要です。

### ③ ビデオの埋め込みコードから

Web 上のビデオに設定されている埋め込みコードを使ってビデオを挿入します。Web 上のビデオへのリンクが設定されるため、プレゼンテーションの容量を抑えることができます。ビデオ再生にはインターネットに接続できる環境が必要です。

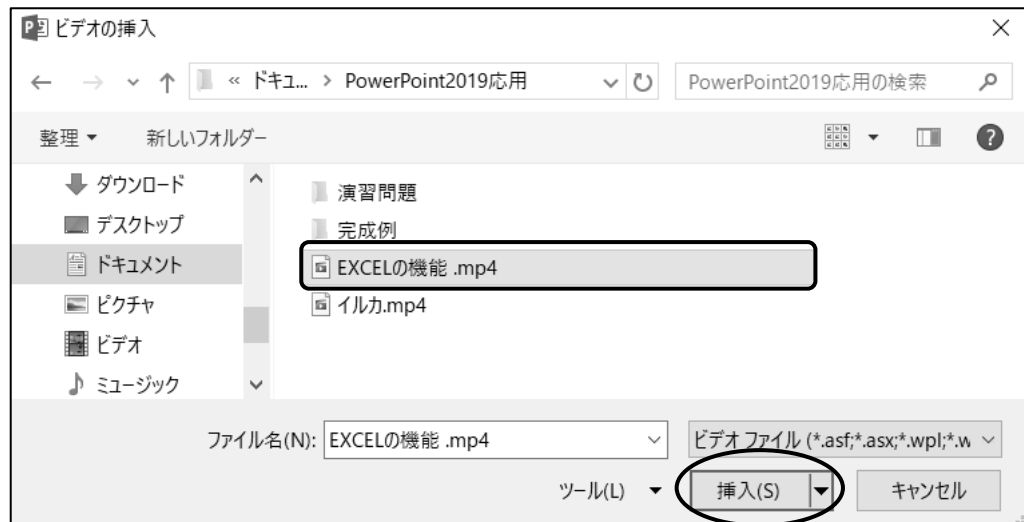
※ Web 上の動画には著作権があります。動画を転用するには、動画を提供している Web サイトで利用可否を確認しましょう。



手順4 ≪ビデオの挿入≫ダイアログボックスが表示されます。

「PowerPoint2019 応用」フォルダーに保存されているビデオファイル「EXCELの機能」を選択します。

手順5 挿入 ボタンをクリックします。



スライド 2 に MP4 ビデオファイル「EXCELの機能」を挿入できました。


ビデオの周囲に○(ハンドル)が表示され、ビデオの下側にビデオコントロールが表示されます。



## 操作 ビデオの再生


スライド 2 に挿入したビデオを再生しましょう。

**手順1** スライド 2 のビデオが選択されていることを確認します。

**手順2** ビデオコントロールの  (再生／一時停止) をクリックします。



① 再生／一時停止

クリックするとビデオが再生されます。再生中は  に変わり、クリックするとビデオが一時停止します。

② タイムライン

再生時間を表します。タイムラインをクリックして再生を開始する位置を指定できます。

③ 0.25 秒間戻ります

0.25 秒前を表示します。

④ 0.25 秒間先に進みます

0.25 秒後ろを表示します。

⑤ 再生時間

現在の再生時間が表示されます。

⑥ ミュート／ミュート解除

クリックすると、音量がミュート(消音)になります。再度クリックするとミュートが解除されます。ポイントすると音量スライダーが表示され、ドラッグして音量を調整できます。



手順3 ビデオが再生されます。

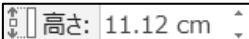
手順4 ビデオ以外の場所をクリックし、ビデオの再生をキャンセルします。

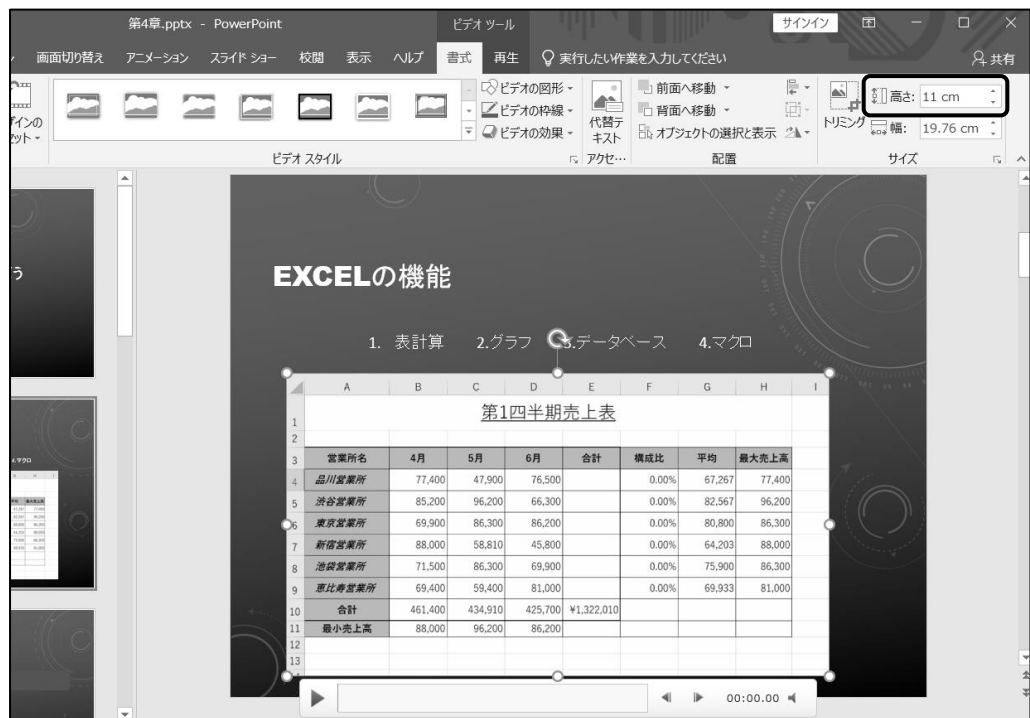
スライド 2 に挿入したビデオを再生できました。


## 操作 ビデオの移動とサイズ変更


スライド 2 に挿入したビデオの縦のサイズを「 11cm 」に変更して、配置を調整しましょう。

手順1 スライド 2 のビデオを選択します。

手順2 [ビデオツール]－[書式]タブ－[サイズ]の  高さ: 11.12 cm (ビデオの縦)を『 11cm 』にします。



手順3 ビデオをポイントし、マウスポインターの形が  に変わったらドラッグして配置を調整します。

※ ドラッグ中のマウスポインターは  に変わります。完成例を参考にしてスライドの左右中央に配置しましょう。

### Check! その他の方法(ビデオのサイズ)

ビデオを選択すると表示される○(ハンドル)をドラッグしてサイズを変更できます。

スライド 2 に挿入したビデオのサイズを変更して、配置を調整できました。



### One Point: ビデオの明るさとコントラスト

挿入したビデオの明るさやコントラスト(明暗の差)を調整できます。明るさとコントラストを調整するには [ビデオツール] - [書式] タブ - [調整] の



(調整) ボタンをクリックします。

### One Point: ビデオスタイルの適用

挿入したビデオにビデオスタイルを適用して、影や光彩を付けたり、ビデオにフレームを付けて装飾したりできます。ビデオスタイルを適用するには、[ビデオツール] - [書式] タブ - [ビデオスタイル] のスタイル一覧から選択します。

### One Point: ビデオのデザインのリセット

明るさやコントラスト、ビデオスタイルなどの書式設定を一度に取り消すには、[ビデオツール] - [書式] タブ - [調整] の



(デザインのリセット) ボタンをクリックします。

## 操作 キャプションの挿入

ビデオにキャプション(字幕)を挿入できます。キャプションファイルをあらかじめ用意してビデオに挿入します。キャプションは PowerPoint 上でビデオの再生中に表示されます。キャプションを表示すると、ビデオの内容をより分かりやすく伝えることができます。

スライド 2 のビデオに「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されているキャプションファイル「 字幕 」を挿入し、字幕付きで再生されるように設定しましょう。

**手順1** スライド 2 のビデオが選択されていることを確認します。

**手順2** [ビデオツール]－[再生]タブ－[キャプションのオプション]のボタンをクリックします。

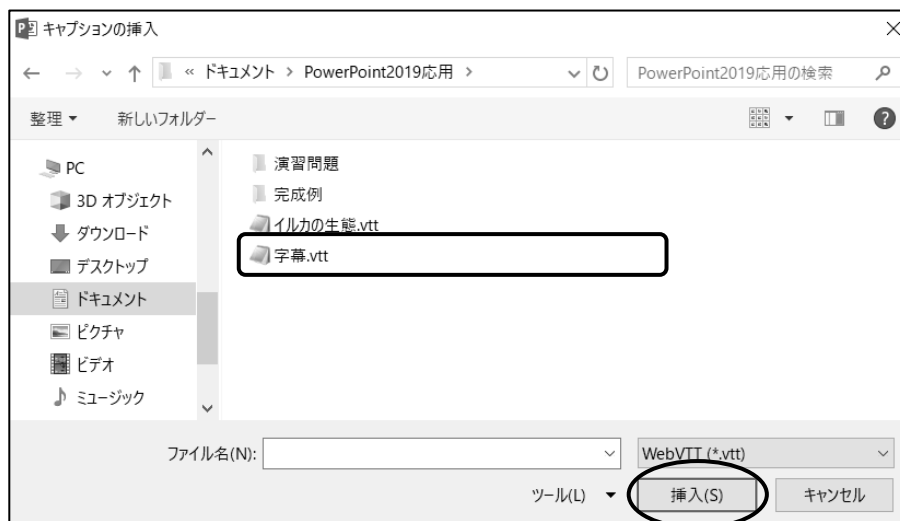



(キャプションの挿入)


**手順3** ≪キャプションの挿入≫ダイアログボックスが表示されます。

「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されているキャプションファイル「 字幕 」を選択します。


**手順4** **挿入** ボタンをクリックします。



**手順5** ビデオコントロールに  (オーディオと字幕のメニューの表示/非表示)が追加されます。



 (オーディオと字幕のメニューの表示/非表示)をクリックし、[字幕]にチェックがついていることを確認します。[オフ]の場合は[字幕]をクリックしてオンにします。



スライド2のビデオにキャプションファイル「字幕」を挿入し、字幕付きで再生されるように設定できました。ビデオコントロールの  (再生/一時停止) をクリックしてビデオを再生し、字幕が表示されることを確認しましょう。



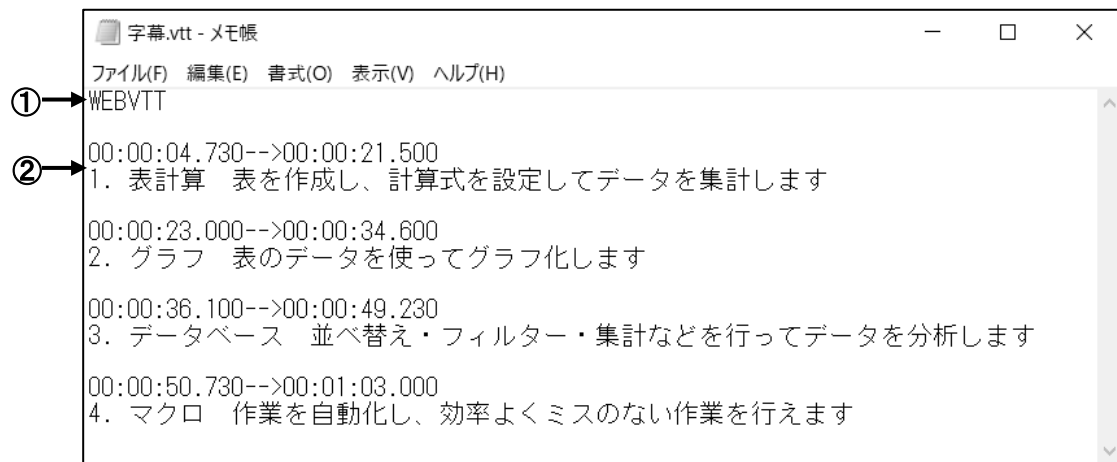
### Check! キャプションファイルの削除

ビデオを選択し、[ビデオツール] - [再生] タブ - [キャプション] のオプション)の  (キャプションの挿入) ボタンの  をクリックし、[すべてのキャプションを削除] をクリックします。



## One Point: キャプションファイルの作成

キャプションファイルは、Windows に標準で搭載されているアプリ「メモ帳」で作成できます。先頭に「WEBVTT」(半角大文字)と入力してから改行し、字幕を表示する時間(hh:mm:ss.ttt)と字幕内容を入力します。字幕を表示する時間は、開始時間と終了時間を「-->」でつないで入力します。環境によって文字化けしないよう文字コードを「UTF-8」に設定し、拡張子「.vtt」と入力して保存します。※ 《名前を付けて保存》ダイアログボックスで拡張子と文字コードを設定します。



- ① 「Web Video Text Tracks」の略で、固定の文字列としてファイルの先頭に入力します。
- ② 字幕の表示時間と表示内容をセットで入力します。

## 操作 ビデオのトリミング

ビデオのトリミングを行って、ビデオの先頭または末尾の不要な映像を取り除き、必要な部分だけに編集できます。

スライド2のビデオの先頭と末尾の不要な映像を取り除きましょう。

開始時間を3秒(00:03)、終了時間を1分4秒(01:04)となるようにトリミングしましょう。

**手順1** スライド2のビデオを選択します。

**手順2** [ビデオツール]－[再生]タブ－[編集]の  (ビデオのトリミング) ボタンをクリックします。



**手順3** ≪ビデオのトリミング≫ダイアログボックスが表示されます。

「開始時間」を『00:03』にします。

**手順4** 「終了時間」を『01:04』にします。

**手順5** **OK** ボタンをクリックします。



スライド2のビデオの先頭と末尾の不要な映像を取り除きました。

開始時間を3秒(00:03)、終了時間を1分4秒(01:04)となるようにトリミングできました。

ビデオを再生して、不要な映像が取り除かれたことを確認しましょう。

## One Point: ≪ビデオのトリミング≫ダイアログボックス

≪ビデオのトリミング≫ダイアログボックスを確認しましょう。

### ① 継続時間

ビデオ全体の再生時間を表示します。

### ② 開始点

目的の開始位置までドラッグしてビデオの先頭をトリミングできます。

### ③ 終了点

目的の終了位置までドラッグしてビデオの末尾をトリミングできます。

### ④ 開始時間

ビデオの開始時間を表示します。

### ⑤ 終了時間


ビデオの終了時間を表示します。

### ⑥ 前のフレーム

1コマ前を表示します。

### ⑦ 再生

ビデオを再生します。

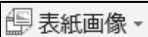
再生中は  (一時停止) に変わります。

### ⑧ 次のフレーム

1コマ後ろを表示します。



## One Point: ビデオの表紙画像

ビデオ内の画像を表紙画像に設定できます。表紙画像に設定したい位置までビデオを再生し、[ビデオツール] - [書式] タブ - [調整] の  (表紙画像) ボタンをクリックして、[現在の画像] をクリックします。

## 操作 ビデオ再生のタイミング

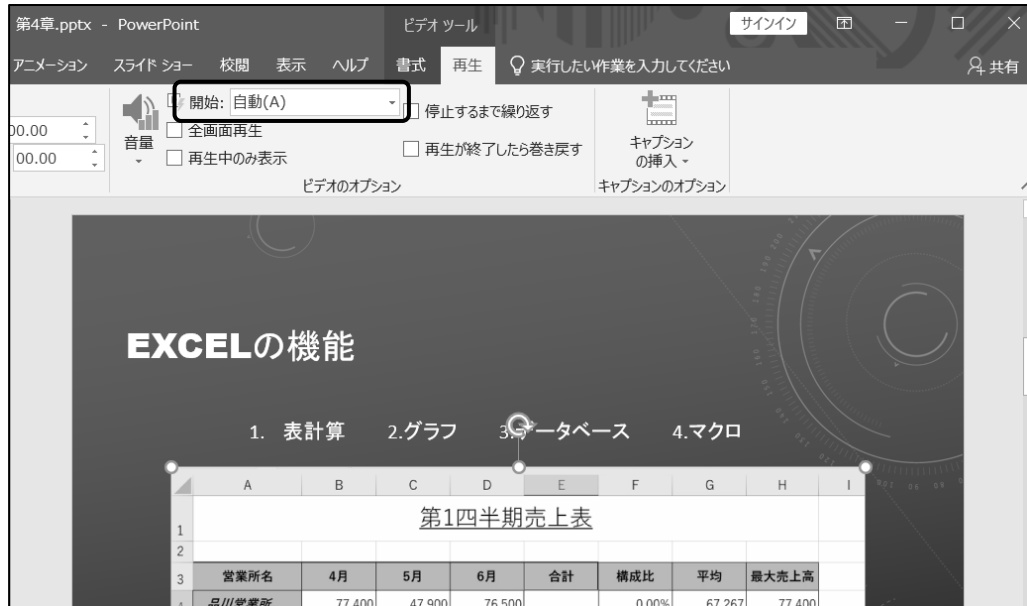
ビデオをスライドショーで再生する際には、次のようなタイミングがあります。


- 自動  
スライドが表示されたタイミングで再生されます。
- クリック時  
スライド上のビデオをクリックしたタイミングで再生されます。
- 一連のクリック動作  
スライドに設定されているアニメーションの順番で再生されます。

自動でビデオが再生されるように設定し、スライドショーを実行しましょう。

**手順1** スライド 2 のビデオが選択されていることを確認します。

**手順2** [ビデオツール] - [再生] タブ - [ビデオのオプション] の **開始: 一連のクリック動作(I)** (開始) の  をクリックし、[自動]を選択します。



**手順3** [スライドショー] タブ - [スライドショーの開始] の  (このスライドから開始) ボタンをクリックします。 ※ **Shift** + **F5** キーを押しても実行できます。



自動でビデオが再生されるように設定し、スライドショーを実行しました。

ビデオにマウスポインターを合わせるとビデオコントロールが表示されます。

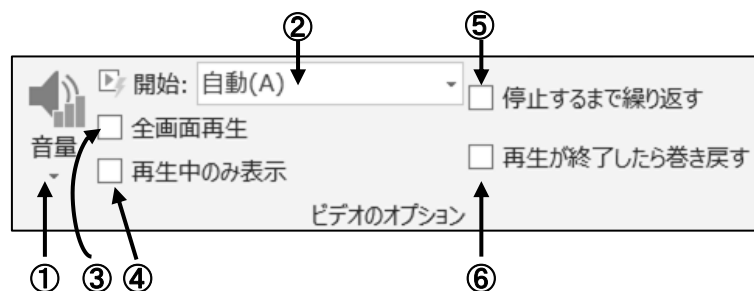
⏏ をクリックするか **Esc** キーを押して、ビデオを一時停止にしましょう。

さらに **Esc** キーを押して、スライドショーを終了しましょう。



## One Point: ビデオのオプション

[ビデオツール]－[再生]タブ－[ビデオのオプション]には、ビデオを再生する際の設定が用意されています。



- ① 音量 : ビデオの音量を調節します。
- ② 開始 : ビデオを再生するタイミングを設定します。
- ③ 全画面再生 : スライドショーでビデオを再生する際に、全画面で表示します。
- ④ 再生中のみ表示 : 再生している時だけ、ビデオが画面に表示されます。
- ⑤ 停止するまで繰り返す : ビデオを繰り返し再生します。
- ⑥ 再生が終了したら巻き戻す : ビデオの再生が終了すると、最初に戻ります。

## 4-3 オーディオの挿入

スライドにオーディオ(録音した音声・音楽)を挿入する方法について学習します。

「オーディオ」とは、録音した音声や音楽のことです。スライドにオーディオを挿入して、プレゼンテーションの効果をより高めることができます。スライドに挿入したオーディオは、プレゼンテーションに埋め込まれてひとつのファイルで管理されるため、オーディオファイルを削除したり、プレゼンテーションの保存場所を移動したりしてもオーディオが再生できなくなることはありません。


### PowerPoint で利用できるオーディオファイルの種類

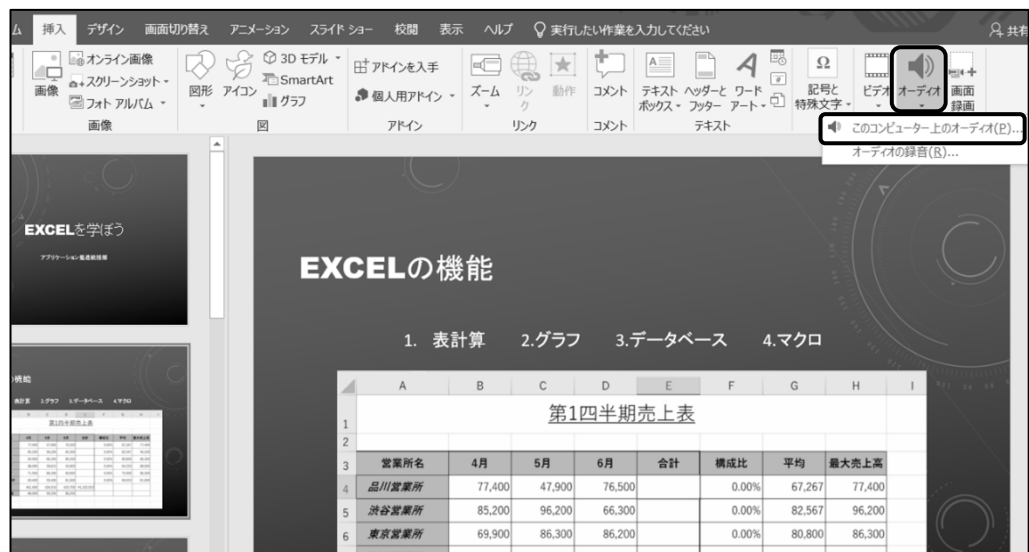
ファイルの種類	説明	拡張子
Advanced Audio Coding MPEG-4 オーディオファイル	Windows 10 などに搭載されているボイスレコーダーなどで利用されているファイル形式	.m4a .mp4
Windows Media オーディオファイル	Windows Vista から Windows 8.1 に搭載されているサウンドレコーダーのファイル形式	.wma
Windows オーディオファイル	Windows で利用されているファイル形式	.wav
MP3 オーディオファイル	携帯音楽プレーヤーやインターネットの音楽配信に広く利用されているファイル形式	.mp3
MIDI ファイル	音楽制作・演奏の分野で広く利用されているファイル形式	.mid .midi
AIFF オーディオファイル	macOS や iOS などで利用されているファイル形式	.aiff
AU オーディオファイル	UNIX や Linux などで利用されているファイル形式	.au

## 操作 オーディオの挿入

スライド 2 に「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されている、MP3 オーディオファイル「 スライド 2 」を挿入しましょう。


**手順1** スライド 2 が選択されていることを確認します。

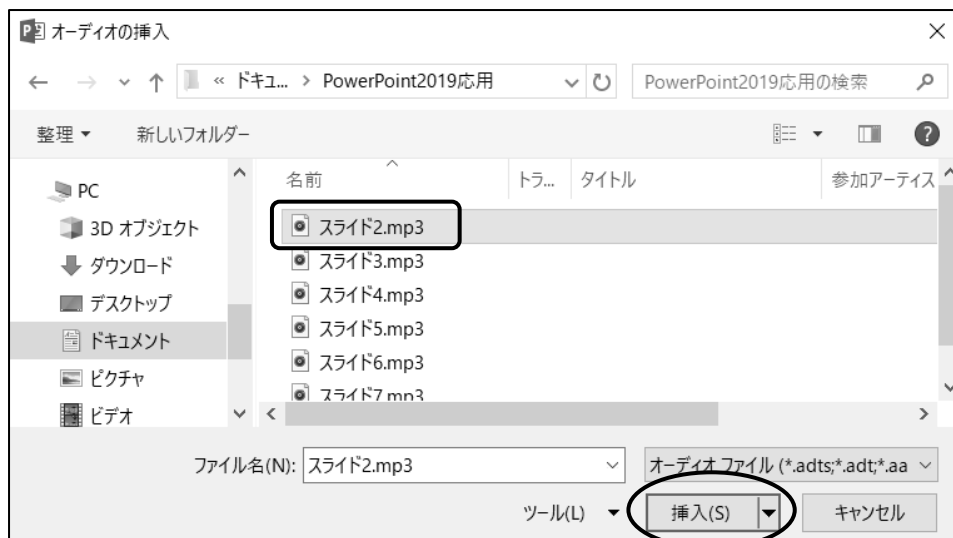
**手順2** [挿入]タブ-[メディア]の  (オーディオの挿入) ボタンをクリックし、[このコンピューター上のオーディオ]をクリックします。



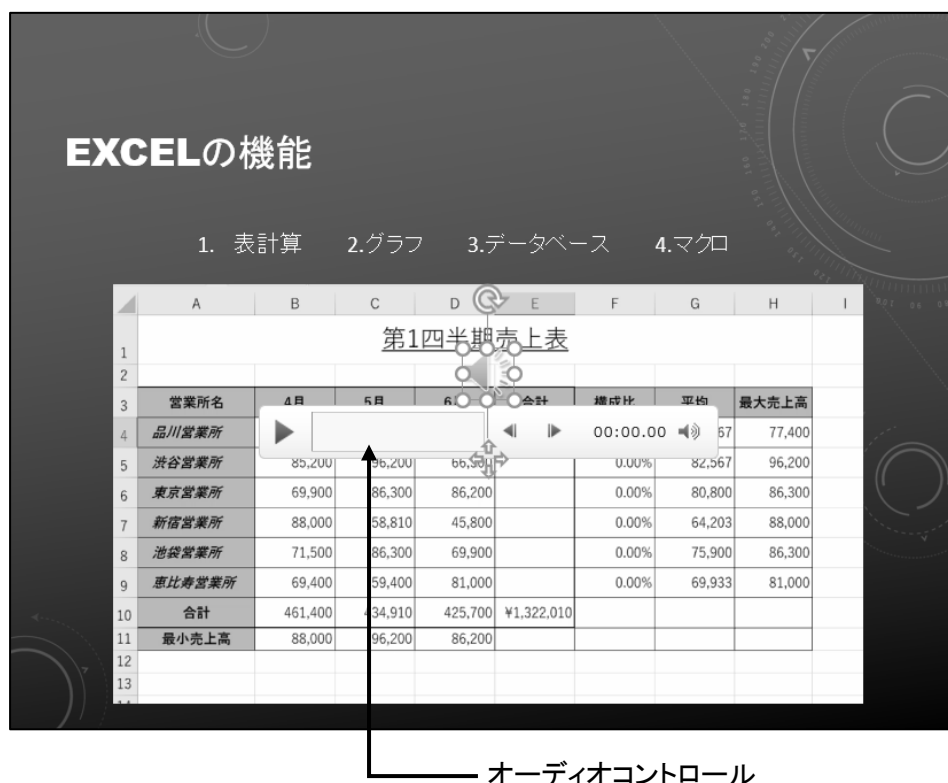
**手順3** ≪オーディオの挿入≫ダイアログボックスが表示されます。

「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されている MP3 オーディオファイル「 スライド 2 」を選択します。

**手順4**  ボタンをクリックします。



スライド 2 にオーディオが挿入され、オーディオのアイコンとオーディオコントロールが表示されました。



### 操作 オーディオの再生

スライド 2 のオーディオを再生しましょう。

※ オーディオを再生するには、パソコンにスピーカーやヘッドホンなど、サウンドを再生する環境が必要です。

手順1 スライド 2 のオーディオのアイコンが選択されていることを確認します。

手順2 オーディオコントロールの  (再生／一時停止) をクリックします。


スライド 2 のオーディオを再生できました。




## 操作 オーディオのアイコンの移動とサイズ変更


オーディオのアイコンのサイズを小さく調整し、スライドの右下へ移動して配置しましょう。

**手順1** オーディオのアイコンが選択されていることを確認します。

**手順2** [オーディオツール]-[書式]タブ-[サイズ]の  高さ: 1.35 cm (図形の高さ)を『1cm』にします。



**手順3** オーディオのアイコンをポイントします。マウスポインターの形が  に変わります。

**手順4** スライドの右下角へドラッグします。 ※ ドラッグ中のマウスポインターは  に変わります。

オーディオのアイコンのサイズを小さく調整し、スライドの右下へ移動して配置できました。



同様の手順で、スライド 3 からスライド 8 に「PowerPoint2019 応用」フォルダーに保存されている、MP3 オーディオファイル「スライド 3」から「スライド 8」を挿入しましょう。挿入後、オーディオのアイコンの図形の高さを『1cm』に調整し、スライドの右下角へ移動して配置しましょう。

スライド 3


1. 表計算

表を作成する

- 必要なデータを表にまとめる
- 見やすい表になるよう書式設定する

計算式を設定し集計する

- 四則演算(足し算・引き算・掛け算・割り算)を設定する
- 関数を設定する



スライド 4

2. グラフ

- グラフ作成
  - 分析内容を見極め、グラフに必要なデータを選択する
  - 目的に応じて適切なグラフの種類を決める
  - グラフに必要な要素を追加する
  - グラフを見やすくするために書式設定する



スライド 5

3. データベース

データベースの作成

- 分析内容を見極め、項目名を作成する
- データベースの規則に従って作成する

データベースの活用

- 並べ替え・フィルター機能
- 小計(カテゴリ別集計)
- ピボットテーブル・ピボットグラフ



スライド 6


4. マクロ

マクロを作成するために

- 自動化する作業の手順を確認する

マクロの作成

- 自動化する手順を行ってマクロを作成する
- マクロを実行して不具合があるかどうかを確認する
- VBAを使ってマクロを汎用化する



スライド 7

学習方法

パソコンスクール

- 講師により、基本から応用まで順序だてて学べる
- 集中して学べる


通信教育

- 自宅で自分のペースで学べる

Eラーニング

- PCやインターネット環境があれば、いつでもどこでも学べる

自分に合った学習方法を選び、効率よくExcelを習得!




スライド 8

申込方法

パソコンスクール	通信・eラーニング
<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットをダウンロードする</li> <li>申込フォームに記入する</li> <li>統括部に申込フォームを送信する</li> <li>社内Payで受講料を支払う</li> <li>受講カードが配布される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットをダウンロードする</li> <li>申込フォームに記入する</li> <li>実施団体に申込フォームを送信する</li> <li>社内Payで受講料を支払う</li> <li>メールで受講URLが実施団体から送信される</li> </ul>

アプリケーション推進統括部で相談室を設けています。




**One Point: オーディオのアイコンのサイズ変更**

オーディオのアイコンのサイズ変更は、アイコンを選択すると表示されるハンドルをドラッグして調整することもできます。

**One Point: ナレーションの録音**


ナレーションは PowerPoint 上で録音することもできます。PowerPoint 上で録音するとオーディオファイルは独立したファイルにはならず、プレゼンテーション内に埋め込まれます。

PowerPoint 上でナレーションを録音するには、[挿入]タブ-[メディア]の  (オーディオの挿入) ボタンをクリックし、[オーディオの録音]をクリックします。

※ オーディオの録音と再生には、パソコンにマイクなどオーディオを録音する環境と、スピーカーやヘッドホンなどオーディオを再生する環境が必要です。

**One Point: オーディオのトリミング**

オーディオの先頭または末尾の不要な部分をトリミングできます。オーディオをトリミングするには、

オーディオのアイコンを選択し、[オーディオツール]-[再生]タブ-[編集]の  (オーディオのトリミング) ボタンをクリックします。

**One Point: スライドショーを実行中にサウンドのアイコンを隠す**

スライドショーを実行しているときに、オーディオのアイコンを非表示にすることができます。

オーディオのアイコンを選択し、[オーディオツール]-[再生]タブ-[オーディオのオプション]の「スライドショーを実行中にサウンドのアイコンを隠す」のチェックボックスをクリックしてオンにします。

## 操作 オーディオ再生のタイミング

オーディオをスライドショーで再生する際には、次のようなタイミングがあります。

●自動

スライドが表示されたタイミングで再生されます。

●クリック時

スライド上のオーディオアイコンをクリックしたタイミングで再生されます。

●一連のクリック動作

スライドに設定されているアニメーションの順番で再生されます。

スライドが表示されると自動でオーディオが再生されるように設定し、スライドショーを実行しましょう。

**手順1** スライド 3 を選択し、オーディオのアイコンを選択します。

**手順2** [オーディオツール] - [再生] タブ - [オーディオのオプション] の

開始: 一連のクリック動作(1) (開始) の をクリックし、[自動] をクリックします。



**手順3** [スライドショー] タブ - [スライドショーの開始] の (このスライドから開始) ボタンをクリック

します。 ※ **Shift** + **F5** キーを押しても実行できます。



自動でオーディオが再生されるように設定し、スライドショーを実行しました。

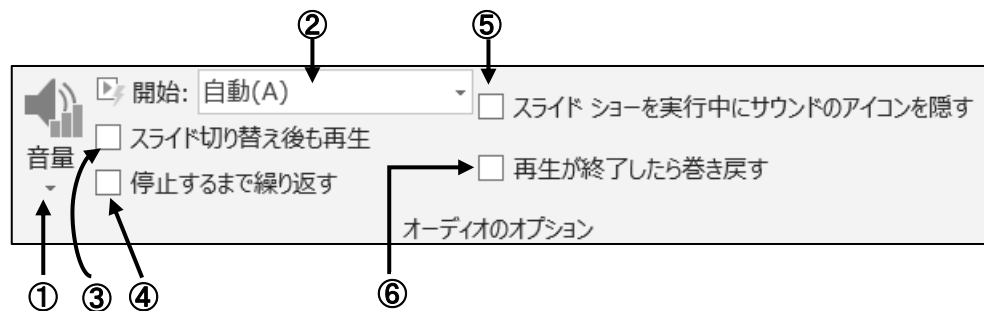
オーディオのアイコンにマウスポインターを合わせるとオーディオコントロールが表示されます。

**Esc** キーを押して、スライドショーを終了しましょう。

同様の手順で、スライド 2、4、5、6、7、8 のオーディオに、スライドが表示されると自動で再生されるように設定しましょう。

### One Point: オーディオのオプション

[オーディオツール]—[再生]タブ—[オーディオのオプション]には、オーディオを再生する際の設定が用意されています。



- ① 音量 : オーディオの音量を調節します。
- ② 開始 : オーディオを再生するタイミングを設定します。
- ③ スライド切り替え後も再生 : スライドが切り替わっても再生されます。
- ④ 停止するまで繰り返す : オーディオを繰り返し再生します。
- ⑤ スライドショーを実行中にサウンドのアイコンを隠す :  
スライドショーを実行中にオーディオのアイコンを非表示にします。
- ⑥ 再生が終了したら巻き戻す : オーディオの再生が終了すると、最初に戻ります。

## 操作 再生順序の変更

同じスライドにビデオとオーディオを挿入すると、挿入した順序で再生されます。スライド2のオーディオはビデオの後に挿入されたため、ビデオが再生されてからオーディオが再生される順序になっています。

ビデオやオーディオの再生順序はアニメーションウィンドウを使って確認し、変更することができます。

**スライド2のオーディオとビデオの再生順序を確認し、オーディオの後にビデオが再生されるように変更しましょう。**

**手順1** スライド2を選択し、オーディオのアイコンを選択します。

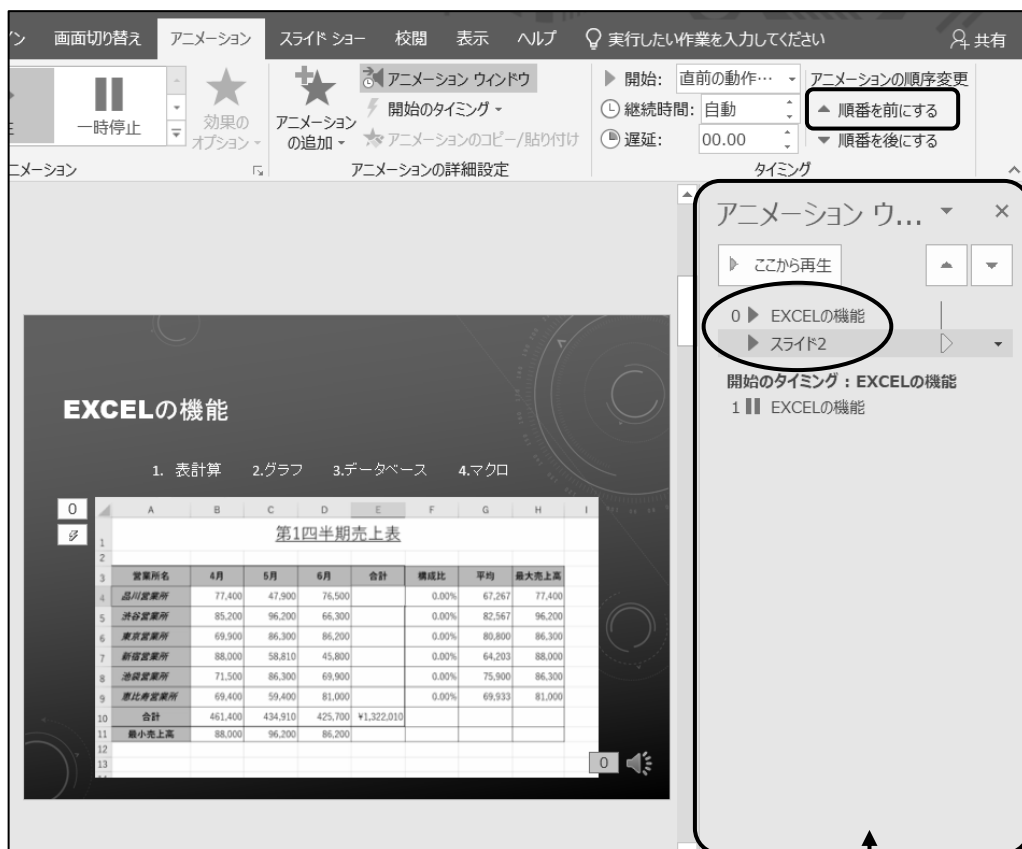
**手順2** [アニメーション]タブ-[アニメーションの詳細設定]の **アニメーションウィンドウ** (アニメーションウィンドウ)ボタンをクリックします。

**手順3** 《アニメーションウィンドウ》が表示されます。

「スライド2」が「EXCELの機能」の下に表示されていることを確認します。

※ リストの上に表示されているものから順に再生されます。

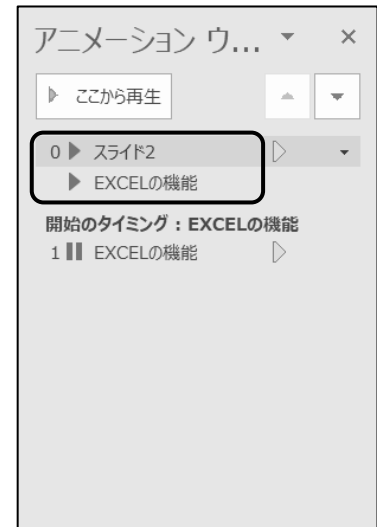
**手順4** [アニメーション]タブ-[タイミング]-[アニメーションの順序変更]の **順番を前にする** (順番を前にする)ボタンをクリックします。



アニメーションウィンドウ

スライド2のオーディオとビデオの再生順序を確認し、オーディオの後にビデオが再生されるように変更できました。《アニメーションウィンドウ》を閉じておきましょう。

スライド2のスライドショーを実行して、オーディオの後にビデオが再生されることを確認しましょう。確認後スライドショーを終了しておきましょう。



#### 🔍 Check! 再生順序を後にする

ビデオやオーディオの再生順序を後にする場合は、  
[アニメーション]タブ-[タイミング]-[アニメーションの順序変更]の  
 (順番を後にする)ボタンをクリックします。

### 操作 画面切り替えの設定

各スライドに画面切り替えのタイミングを設定し、自動でスライドショーが実行されるように設定しましょう。各スライドの画面切り替えのタイミングを次のように設定しましょう。

スライド 1 : 00:04.00(4 秒)	スライド 6 : 00:18.50(18 秒 50)
スライド 2 : 01:20.00(1 分 20 秒)	スライド 7 : 00:14.00(14 秒)
スライド 3 : 00:10.00(10 秒)	スライド 8 : 00:17.00(17 秒)
スライド 4 : 00:08.00(8 秒)	スライド 9 : 00:04.00(4 秒)
スライド 5 : 00:15.00(15 秒)	

手順1 スライド 1 を選択します。

手順2 [画面切り替え]タブ-[タイミング]-[画面切り替えのタイミング]の[自動的に切り替え]のチェックボックスをクリックしてオンにし、『00:04.00』と設定します。



手順3 同様の手順で、スライド 2 からスライド 9 に画面切り替えのタイミングを設定します。

各スライドに、画面切り替えのタイミングを設定し、自動でスライドショーが実行されるように設定できました。スライドショーを実行して確認しましょう。

## 4-4 アニメーションの追加

アニメーションを追加して、再生するタイミングの設定やコピーして利用する方法を学習します。

### 操作 アニメーションのタイミング

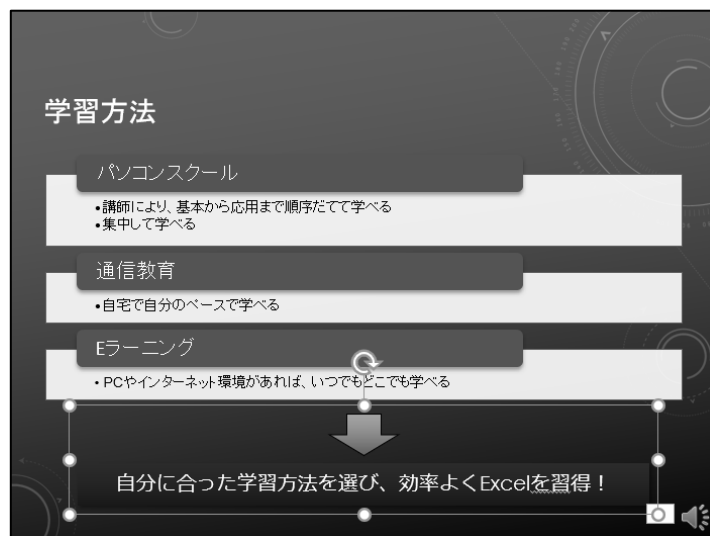
初期の設定では、アニメーションはクリックまたは **Enter** キーを押して再生されます。アニメーションが自動再生されるように設定を変更し、再生スピードや遅らせて再生するように調整することができます。

スライド 7 のオブジェクトにアニメーションを追加し、アニメーションのタイミングを設定しましょう。

アニメーションの種類 : 「 開始 」の「 フロートイン 」  
 効果のオプション : 「 フロートダウン 」  
 開始のタイミング : 「 直前の動作と同時 」  
 遅延 : 「 8 秒 」

**手順1** スライド 7 を選択し、下向き矢印の図形の上をクリックします。

※ 下向き矢印と赤色のテキストボックスはグループ化されています。



**手順2** [アニメーション]タブ - [アニメーション]のアニメーションの一覧から「 開始 」の「 フロートイン 」をクリックします。



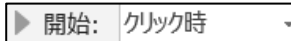
**手順3** [アニメーション]タブ-[アニメーション]の



(効果のオプション)ボタンをクリックし、

[フロートダウン]をクリックします。

**手順4** [アニメーション]タブ-[タイミング]の



(アニメーションのタイミング)

の [▼] をクリックして[直前の動作と同時]をクリックします。

**手順5** [アニメーション]タブ-[タイミング]の



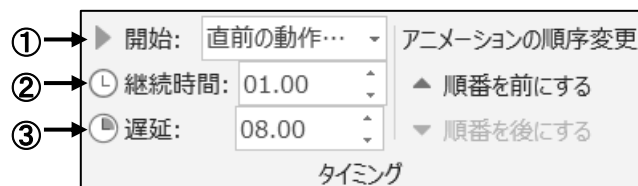
(アニメーションの遅延)を

『 08.00 』に設定します。

スライド7のオブジェクトにアニメーションを追加し、アニメーションのタイミングを設定できました。スライドショーを実行し、オーディオが再生されてからしばらくして、アニメーションが実行されることを確認しましょう。

### One Point: アニメーションのタイミングの設定

[アニメーション]タブ-[タイミング]にはアニメーションのタイミングを設定する操作が用意されています。



#### ① 開始

アニメーションを再生するタイミングを選択します。「クリック時」が初期設定です。「直前の動作と同時」、「直前の動作の後」を選択すると、直前の動作に合わせて、自動的にアニメーションが再生されます。

#### ② 継続時間

アニメーションの再生時間を設定します。短時間に設定すると、素早く再生され、長時間に設定すると、ゆっくり再生されます。

#### ③ 遅延

アニメーションの再生を遅らせる時間を設定します。設定した時間を経過すると、アニメーションが再生されます。演習では直前の動作であるオーディオの再生と同時にアニメーションを再生するよう設定し、オーディオ再生から8秒遅れてアニメーションを再生するように設定しています。

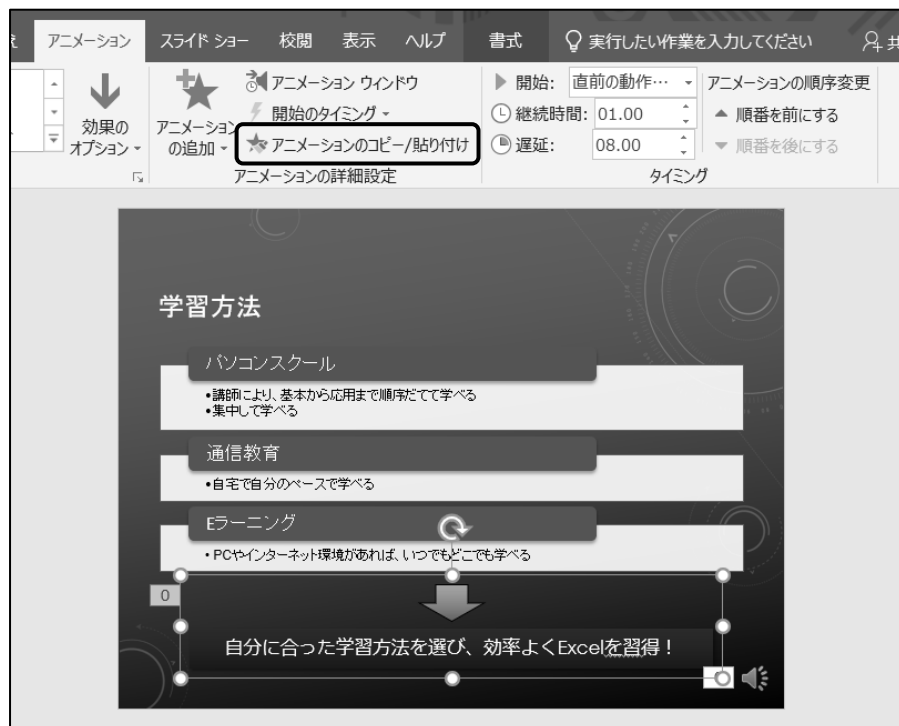
## 操作 アニメーションのコピー

同じ設定のアニメーションを別のオブジェクトなどに利用したい場合は、アニメーションをコピーして適用できます。


スライド 7 のオブジェクトに設定したアニメーションをコピーして、スライド 8 のオブジェクトに適用しましょう。スライド 8 に適用したアニメーションの「遅延」を『10 秒』に変更しましょう。

**手順1** スライド 7 のアニメーションを設定したオブジェクト(下向き矢印)を選択します。

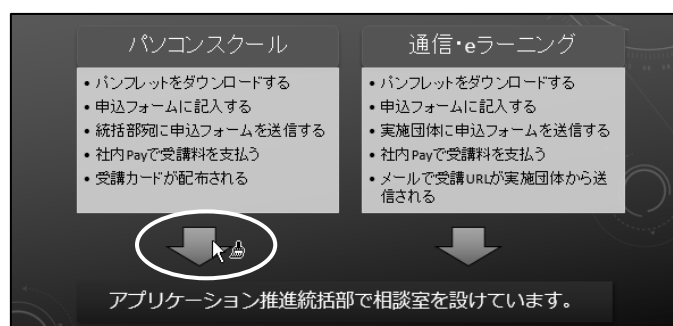
**手順2** [アニメーション]タブ-[アニメーションの詳細設定]の **★アニメーションのコピー/貼り付け** (アニメーションのコピー/貼り付け) ボタンをクリックします。



**手順3** スライド 8 を選択し、下向き矢印の図形の上をクリックします。

※ マウスポインターが  の形でクリックします。

※ 下向き矢印と赤色のテキストボックスはグループ化されています。





手順4 [アニメーション]タブ-[タイミング]の **遅延: 08.00** (アニメーションの遅延)を『10.00』に設定します。

スライド7のオブジェクトに設定したアニメーションをコピーして、スライド8のオブジェクトに適用し、アニメーションの「遅延」を『10秒』に変更しました。

アニメーションは「フロートイン」、効果のオプションは「フロートダウン」、アニメーションのタイミングは「直前の動作と同時」に設定されていることを確認しましょう。

スライドショーを実行して確認しましょう。



**Check! アニメーションを複数箇所へコピー**


アニメーションを複数箇所へコピーする場合は、**★アニメーションのコピー/貼り付け** (アニメーションのコピー/貼り付け) ボタンをダブルクリックして、適用箇所をクリックしていきます。終了したら **★アニメーションのコピー/貼り付け** (アニメーションのコピー/貼り付け) ボタンを再度クリックするか、**ESC** キーを押してキャンセルします。

プレゼンテーション「第4章」に『第4章完成』と名前を付けて保存し、閉じましょう。

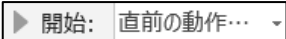
## 4-5 第4章の復習

第4章で学習した内容を復習しましょう。

● 下記の設問に沿って操作を行いましょ。

1. 「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されているプレゼンテーション「 第4章復習 」を開きましょう。
2. スライド3のコンテンツプレースホルダーに「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されている、MP4ビデオファイル「 イルカ 」を挿入しましょう。  
※ コンテンツプレースホルダー内の  (ビデオの挿入) ボタンから挿入できます。
3. ビデオの横を『 20cm 』に変更して、スライドに合わせて「 左右中央揃え 」に配置しましょう。
4. ビデオに字幕を設定しましょう。「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されているキャプションファイル「 イルカの生態 」を挿入しましょう。
5. ビデオの終了時間が『 1分5秒(01:05.000) 』となるようにトリミングしましょう。
6. ビデオが自動で再生されるように設定しましょう。
7. スライドに「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに保存されている、MP3オーディオファイルを挿入しましょう。

「 スライド2 」	: MP3オーディオファイル「 ナレーション2 」
「 スライド3 」	: MP3オーディオファイル「 ナレーション3 」
「 スライド4 」	: MP3オーディオファイル「 ナレーション4 」
「 スライド5 」	: MP3オーディオファイル「 ナレーション5 」
「 スライド6 」	: MP3オーディオファイル「 ナレーション6 」
「 スライド7 」	: MP3オーディオファイル「 ナレーション7 」
「 スライド8 」	: MP3オーディオファイル「 ナレーション8 」
「 スライド9 」	: MP3オーディオファイル「 ナレーション9 」

8. 各スライドに挿入したオーディオのアイコンの図形の高さを『 1cm 』にし、スライドの右下へ配置しましょう。
9. 各スライドに挿入したオーディオが自動で再生されるように設定しましょう。
10. スライド3に挿入したオーディオがビデオと同時に再生されるように再生順序を変更しましょう。  
※オーディオのアイコンを選択し、[アニメーション]タブ-[タイミング]の  (アニメーションのタイミング) で「 直前の動作と同時 」に設定します。

11. 各スライドに画面切り替えのタイミングを設定しましょう。

スライド 1 : 00:03.00(3 秒)	スライド 6 : 00:10.00(10 秒)
スライド 2 : 00:13.00(13 秒)	スライド 7 : 00:09.00(9 秒)
スライド 3 : 01:06.00(1 分 6 秒)	スライド 8 : 00:11.00(11 秒)
スライド 4 : 00:10.00(10 秒)	スライド 9 : 00:17.00(17 秒)
スライド 5 : 00:11.00(11 秒)	スライド 10 : 00:03.00(3 秒)

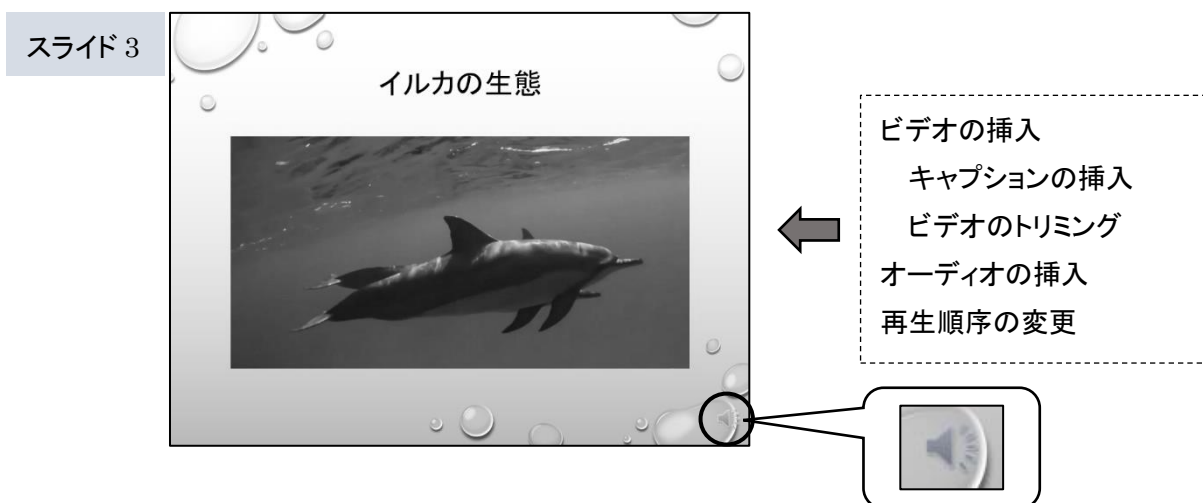
12. スライド 4 の画像にアニメーションを追加し、アニメーションのタイミングを設定しましょう。

アニメーションの種類 : 「 開始 」の「 ホイール 」
開始のタイミング : 「 直前の動作と同時 」
遅延 : 「 3 秒 」

13. スライド 4 の画像に設定したアニメーションをコピーして、スライド 5～スライド 7 の画像に適用しましょう。

14. プレゼンテーション「 第 4 章復習 」を「 PowerPoint2019 応用 」フォルダーに名前を付けて保存しましょう。ファイル名は『 第 4 章復習完成 』とします。

<完成例>



スライド 4

① イルカの種類 バンドウイルカ

最も数が多い「マイルカ」の仲間で、イルカらしい姿をしているのが特徴です。

- 学名: TURSIOPS TRUNCATUS
- 英名: BOTTLENOSE DOLPHIN
- 生息地: 世界中の海(温帯～熱帯域)
- 体長: 2.2～3M ほど



アニメーションのタイミング  
アニメーションの遅延



スライド 5

② イルカの種類 イロワケイルカ

白と黒のはっきりとした模様が特徴で「バンドイルカ」と呼ばれることもあります。

- 学名: CEPHALORHYNCHUS COMMERSONII
- 英名: COMMERSON'S DOLPHIN
- 生息地: 南米大陸南端周辺の海域
- 体長: 1.3～1.5Mほど



スライド 6

③ イルカの種類 スナメリ

くちばしが短くて背びれがなく、凹凸の少ない体型が特徴となっています。

- 学名: NEOPHOCAENA PHOCAENOIDES
- 英名: FINLESS PORPOISE
- 生息地: アジア地域の沿岸
- 体長: 1.6～1.7Mほど



アニメーションの  
コピー/貼り付け



スライド 7

④ イルカの種類 シロイルカ

「イッカク科シロイルカ属」に分類されている唯一の動物です。

- 学名: DELPHINAPTERUS LEUCAS
- 英名: BELUGA, WHITE WHALE
- 生息地: 北半球の寒帯～亜寒帯
- 体長: 4～6Mほど



# *Memo*